

安心をすべての人に届けたい

公式ホームページ  
http://sakuraisuguru.jp/



well-being 通信

well-being (ウェルビーイング) : 幸福、健康で満たされた状態

北本市議会議員  
桜井すぐる



## 2025年 2月号 令和7年第1回臨時会の報告 職員給与改定等 地域の足の確保・交通空白解消セミナー参加報告

市議会や市政の情報をより迅速に多くの情報を提供するため、通常のウェルビーイング通信に加え、ミニレターを発行することといたしました。このミニレターは、ポスティングは行わず、北本駅頭での配布と後援会員への郵送のみを行います。ぜひ、お手に取ってお読みください。

令和7年1月27日(月)に北本市議会第1回臨時会が開催されました。本来は12月定例会に提案される職員・議員の給与等の改定の条例案の提案が、国における法律の改正が遅れたため、本市においても1月にずれ込んだものです。また、国からエネルギー・食料品価格等の物価高騰対策として『重点支援地方交付金』が交付されたこと、さらにはふるさと納税寄附金が当初の見込みを上回ったことから、総額4億7,457万7千円を増額する補正予算が計上され、全て可決されました。

### 民間給与の状況を反映して 市職員も約30年ぶりの大幅ベースアップ

人事院勧告を参考に職員等の給与が改定されました。職員全体では平均2.32%の引上げ、大卒の初任給は202,400円から225,600円に11.5%の引上げとなりました。期末・勤勉手当(ボーナス)は年間4.5か月分から4.6か月分へ0.1月分の引上げです。

市長・副市長・教育長の給与、議員報酬の改定はなく、期末手当のみ0.1か月の引上げです。

なお、今回の給与改定に伴い約1億2千万円の増額補正が計上されました。

### ふるさと納税が好調、1億円増額し14.1億円に

ふるさと納税寄附について、令和6年度当初予算では前年度から微増の13億1千万円を見込んでいましたが、これを上回る見込みとなったため、1億円増額補正されました。なお、このうち4,940万円は諸経費に充てられます。

| 年度    | ふるさと納税寄附額      |
|-------|----------------|
| 令和元年度 | 2億4,784万9千円    |
| 令和2年度 | 6億8万8千円        |
| 令和3年度 | 9億745万1千円      |
| 令和4年度 | 11億1,018万2千円   |
| 令和5年度 | 11億9,588万9千円   |
| 令和6年度 | (見込)14億1,000万円 |

市職員の給与は、毎年的人事院勧告を参考にして改定しています。

人事院勧告とは、人事院が国会や内閣に対して行う国家公務員の給与に対する勧告のことで、民間の給与水準を調査して、公務員の給与水準に反映させています。今回の勧告では、若年層を中心に平均3.0%引上げ、約30年ぶりとなる高水準のベースアップとなりました。

なお、北本市議会議員の議員報酬は、令和2年度に月額35万2千円から35万5千円に改定(平成10年度以来の改定)した後は、改定していません。議員の期末手当は職員の支給割合に準じて改定しています。

### 物価高対策、住民税非課税世帯に3万円給付 子育て世帯には1人2万円追加給付

重点支援地方交付金のうち『低所得世帯支援枠』として約2億円が国から内示されました。住民税非課税世帯に1世帯当たり3万円給付、そのうち子育て世帯には子ども(高校3年生相当まで)1人当たり2万円を追加で給付します。3月上旬から順次給付される予定です。

この他に『推奨事業メニュー』としても国から別途交付されます。推奨事業メニューは市の実情に応じて取組を実施するものです。取組の内容は検討中ですが、第1回定例会に補正予算が計上される見込みです。昨年同様、学校給食費無償化の財源としての活用が期待されます。

# 『地域の足』が無くなる？交通空白解消セミナー 参加報告

地域の足（移動手段）の確保は、全国各地において大きな課題となっています。本市の公共交通としては、路線バス、タクシー、デマンドバスが運行されていますが、特に高齢の方からは、使い勝手が悪く行きたい時に行きたいところに行けないという声をうかがっています。

そこで、地域の足の確保に関する国の制度や先進的な事例を学ぶため、交通空白解消セミナーに参加してまいりました。なお、この研修には政務活動費を使わせていただいております。

令和5年度に本市が実施した公共交通に関するアンケートでは、公共交通に対して不安を持っている市民は多くありません。これは自家用車で移動できる人が多いからです。

しかし、社会福祉協議会が実施した高齢者を対象としたアンケート（下表）では、将来に不安を感じている市民が多くいることが分かります。特に、買い物、通院、地域活動への参加に不安を持っている方が多くなっています。高齢化が進む中、地域の足の確保は喫緊の課題です。

|                        |           |      |
|------------------------|-----------|------|
| 現在、生活の中で外出や移動に困っていますか？ | 困っている     | 96人  |
|                        | 困っていない    | 198人 |
|                        | 特に感じない    | 101人 |
|                        | 3～5年後に不安  | 269人 |
|                        | 7～10年後に不安 | 113人 |

本市では新たなタクシー補助事業を検討しています。対象は80歳以上、区域は市内限定で、タクシーの利用料金を軽減するものです。

現在運行しているデマンドバスは、病院の帰りの予約が困難（帰りの時間が何時になるか分からないため）との声が多いことから、これを補完する意味があるようです。

しかし、初乗り料金では割引にならず、タクシーの台数自体も少なくなっているため、これだけでは地域の足の確保には不十分でしょう。

| タクシー料金           | 利用料金   |
|------------------|--------|
| 2,000円未満         | 700円   |
| 2,000円以上3,000円未満 | 1,200円 |
| 3,000円以上4,000円未満 | 1,700円 |
| 4,000円以上5,000円未満 | 2,200円 |
| 5,000円以上         | 3,000円 |

発行者：桜井すぐる後援会（代表：桜井 卓）  
住所：〒364-0034 北本市高尾1-166-6

元埼玉県職員。51歳。会派：緑風会 所属。  
令和元年5月～北本市議会議員（現在2期目）  
健康福祉常任委員会、埼玉中部環境保全組合、  
新たなごみ処理施設等建設検討委員会委員

## 様々な地域の足の確保策

### コミュニティバス



桶川市や鴻巣市で運行されています。バス事業者が撤退した後に自治体が委託して走らせることが多いため、利用者が少なく、収支率も悪いのが一般的です。ルートや運賃を柔軟に設定できるので、利便性は高くなります。

### 日本版ライドシェア



タクシーの台数や運転手が不足する場合に、タクシー事業者の管理の下、自家用車や一般ドライバーを活用して運行するものです。運行できる地域や時間帯が限定されており、現状ではあまり利便性向上につながらないと感じます。

### 自動運転バス



運転手不足の解消に役立つとされていますが、まだまだ制約が多く、乗り心地も良くないという評判です。多額の費用も掛かり、あまり実用的ではないようです。

### ★まとめ

地域の足を確保する方策は国によって制度化されつつありますが、地域によって求められるニーズや使える資源が異なり、どの地域にも有効な、万能な方策はありません。公共交通の利便性を高めれば、市民の財政負担も増えるため、丁寧な合意形成が必要となります。

まずは「本市の公共交通政策をどうしたいか」を徹底的に議論するところから始める必要があります。国では地域公共交通計画の策定を努力義務化しましたが、本市では未策定です。早急な計画の策定を求めてまいります。

お困りごと、お気軽にご相談ください  
090-9389-3572（桜井携帯）  
sakuraisuguru.kitamoto@gmail.com

桜井すぐる後援会に入会して  
ご支援ください（会費無料）  
入会の手続きはこちら ➡

